「小浜の森の夏の植物」②（平成 29 年７月編）

撮影・作成：流尾哲也

他の場所の工事で埋没の運命のヤブカンゾウを植栽ゾーンに移植したら元気に生育している。

これは八重咲の藪萱草（一重が野萱草）

ムクゲの花はパラボラアンテナ型の一重（左）が基本種だが、あでやかな八重咲種（右）も多い。

ムクゲの枝にはナナフシやイナゴもいた。

市道沿いには白花のキキョウも咲き始めた。

薄暗い竹藪の中で自生のカラタチバナ（唐橘、百両）の花が咲いている。（フラッシュ使用）

唐橘を拡大してみると五弁の白い花だ。

オオバノトンボソウは年々小ぶりになっている。花の一輪一輪はトンボが飛んでるようだ。

小浜の森では今日（７月６日）にはまだ山百合は蕾だ。日照不足も影響している。

昆虫の多く見られた日だ。
この甲虫はカミキリムシの仲間？

市道沿いにはオニユリがたくさんの花を咲かせた。

６本の鬼百合の雄蕊はクラゲの触手のようだ。

先日の蕾が咲いた。雄蕊の開き具合から昨日開花か。

こちらのはまだ雄蕊が開いてないので今朝の開花だろう。（７月１１日）

何の実かと思えばバイカウツギの実だ。

イヌザクラの実が少し色づき始めた。（７月１３日）